

● 問
財政課 Tel.23・1114

予算規模は24年度と比較すると0.2割の増となります。個別に見ていくと、歳入は自主財源（小林市で自主的に収入する財源）が約64億円で、全体の27.9割を占めます。そのうち市税が約44億円で、前年より4.6割増。依存財源（国や県などから収入する財源）は165億円の72.1割で、最も大きい地方交付税は約90億円となりました。歳出は性質別に区分すると、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）が117億9千万円で全体の51.2割を占めます。そのうち扶助費は約50億円で前年度と比較すると約5割増となりました。普通建設事業費は、約24億円で前年より5.5割減となり、投資的経費全体でも7.0割の減となりました。詳しくは右ページの図1、図2をご覧ください。

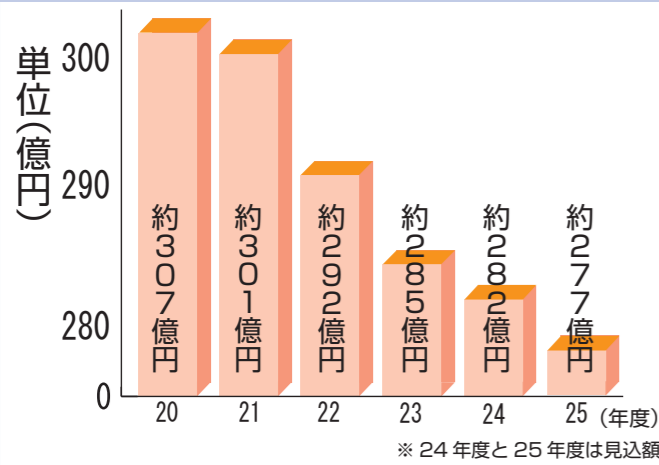
一般会計は
229億8,000万円

今年は何にどれだけお金を使うの？
小林市の設計書「予算」を解説！

予算を読む 2013

平成25年度のまちづくりへ向けた予算が成立しました。着実な財政健全化の推進を図りつつ、景気浮揚対策を重視。防災、子育て、医療や教育など「市民協働を進める安心安全推進型」予算としました。

年度末市債残高の推移（見込）

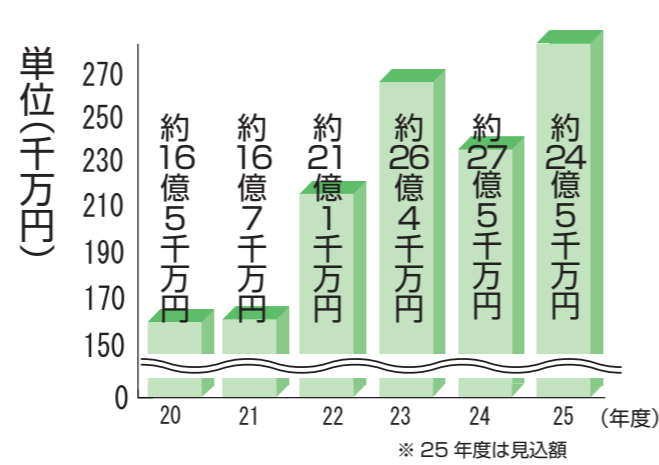


【市債】

借金。今税金を払っている人だけではなく、将来利用するにも負担してもらおうという考えに基づくもの。事業費の財源になり、一般財源が少なくても、大きな事業に着手することが可能となります。

※市債残高は、平成20年度末と平成25年度末を比較すると、約30億円少なくなる見込みです。市債残高を市民一人当たり換算すると、平成25年度末見込みで約58万円になります。

年度末基金（財調、減債）残高の推移（見込）



【財調（財政調整基金）】

災害復旧など、臨時または異常時の財政需要の財源に充てるための基金

【減債（減債基金）】

市債の償還の財源に充てるための基金

※基金残高の増減から、短期的な財政の健全度を測ることができます。支出を減らし、収入の範囲でやりくりをすれば、貯蓄にお金を回せます。将来のいざという時、あるいは大きな施設の整備をする時に活用できます。

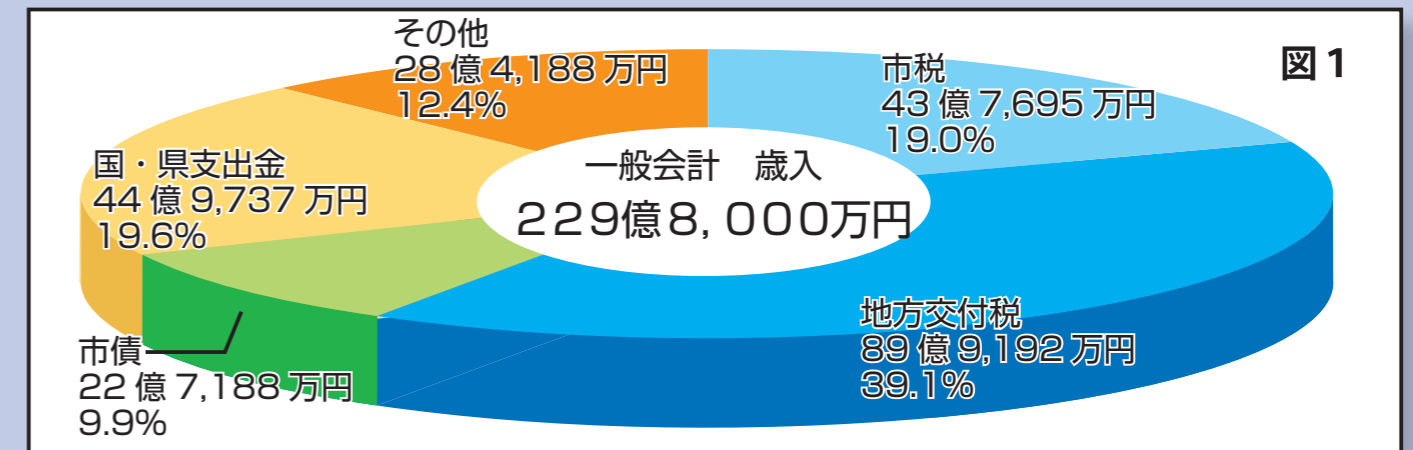


図1

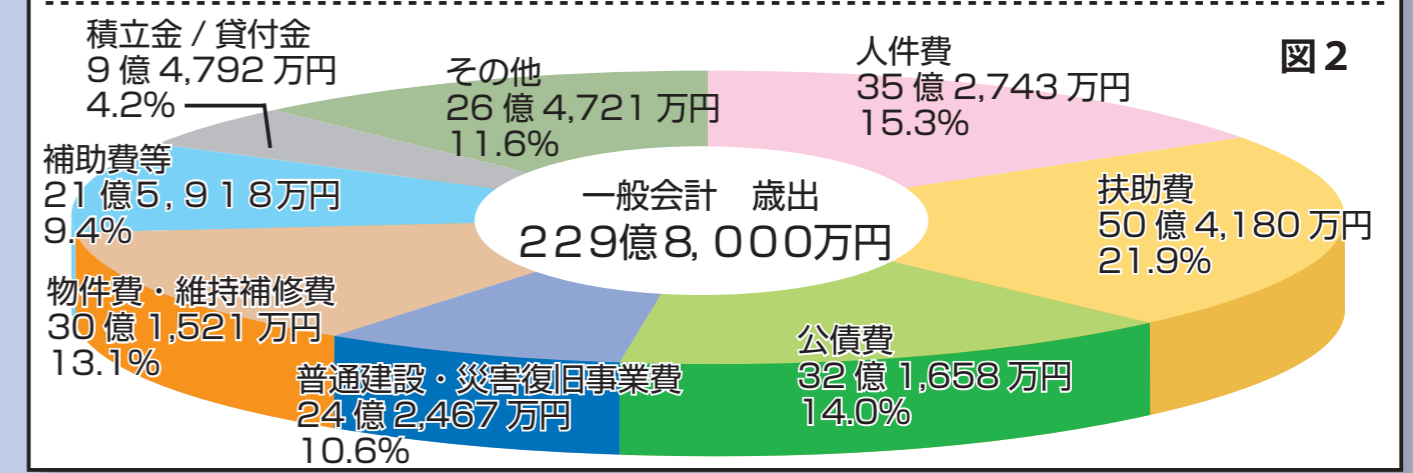


図2

用語解説

- ▼ **【歳入】**
市税：みなさんが納める「市民税」、「固定資産税」、「たばこ税」、「軽自動車税」などの税金。
繰入金：積立金（基金）の取り崩し金や他の会計から繰り入れたお金。
地方交付税：市町村の財政力に応じて国から交付されるお金。
国庫支出金：市町村が行う特定の事業に対し、国から交付されるお金。
県支出金：市町村が行う事業に対して県から交付されるお金で、通常は使途が特定されます。
市債：市の借入金（借金）で返済が2年以上にわたるもの。
【性質別歳出】
地方公共団体の経費を性質別に分類するもの。「義務的経費」は支出が義務づけられている経費で、「投資的経費」は行政水準の向上にかかる経費です。
人件費：議員報酬、職員給与など。
扶助費：高齢者、児童、障がい者などに対して行う支援のための経費。
公債費：市の借金を返済するための経費。
普通建設事業費：道路や公共施設などの新増設に必要とされる経費。
災害復旧事業費：災害で被災した施設などを復旧するための経費。
物件費：賃金、旅費、交際費、需用費など消費的性質をもつ経費。
維持補修費：道路や公共施設などを管理するために必要な経費。
補助費等：市からの団体などに対して支払う経費で補助金、負担金、市立病院繰入金などが該当します。
積立金：財政運営を計画的にするため財源変動に備えて積立てる経費。
繰入金：一般会計、特別会計、基金の間で、相互に資金運用をするための経費。

特別会計	金額
簡易水道事業特別会計	10億359万4千円
食肉センター事業特別会計	6,781万8千円
国民健康保険事業特別会計	78億3,591万3千円
物品購入特別会計	2億8,300万円
農業集落排水事業特別会計	1億9,255万5千円
下水道事業特別会計	7億6,040万8千円
西諸地域介護認定審査事業特別会計	3,154万円
介護保険事業特別会計	49億2,449万5千円
後期高齢者医療事業特別会計	11億8,216万8千円
宅地分譲事業特別会計	57万1千円

企業会計	事業会計	金額
水道事業会計		6億8,949万円
市立病院事業会計		27億3,439万8千円

▶ A4版で414ページにもわたる平成25年度小林市一般会計予算書。市は、これら予算書に従って本年度のまちづくりを進めていきます。





木造住宅耐震化促進事業
562万円
【木造住宅の耐震診断と改修経費を一部助成】



『未来を拓く戦略プロジェクト』ふるさと
こばやし定住促進事業費 2,338万8千円
【定住促進施策を推進】



新庁舎建設推進事業
1,449千円
【新庁舎建設基本計画を策定】



校区協議会設立モデル事業
359万円
【新たな校区協議会設立に向けて取り組む】



協働による防災のまちづくり事業
1,455千円
【防災専門員の配置や自主防災組織を育成】



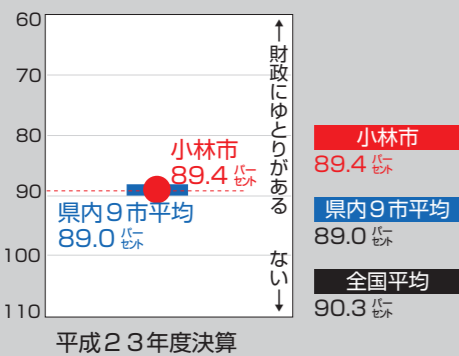
写真で見る 本年度事業 お金の使い道

予算を読む 2013

小林市の財政硬直度を示す 「経常収支比率」

毎年比較的安定して入ってくるお金に対し、人件費などの毎年必ず支出しなければならない経費が占める割合で、比率が高いほど自由に使えるお金がないということになります。目安として、75%～80%が妥当、80%以上になると黄信号で「財政構造が弾力性を失い硬直化している」とされます。

小林市の経常収支比率89.4%。油断はできない状況です。



平成25年度の予算は、前年度の当初予算と比較すると0.2割増加しています。予算額は、ほぼ前年度並みですが、防災、子育て、医療や教育など市政全般において「協働により九州一安心安全なまち」小林市の実現に向けた取り組みを充実するための予算となっています。

平成24年度まで、市民サービスを維持しつつ、借金である市債の残高を減らし、貯金である基金を増やすことができています。それでも市が歳入の多くを市以

協働により安心安全を 推進する25年度予算

外に頼る割合は大きく、改善しているとはいえず、財政状況は現在でも厳しいことになりはありませぬ。その中で、市民サービスが低下することがないように、限られた予算で大きな効果を上げられるよう努めています。

小林市には、乗り越えなければならない課題が多くあり、その解決に向けて市民の皆さんと一緒に取り組んでいるところです。財政健全化はその一つであり、その他にあるさまざまな課題を解決する重要な要素でもあります。

今後も市民サービスの向上と地域の活性化、そして財政健全化を両立した財政運営に取り組んでいきます。

Pick Up !

小林市の予算を家計簿に例えると…?

平成25年度の一般会計予算を月収50万円(年収600万円)の家庭に例えて、1ヵ月分の家計簿を作ってみました。

毎月の収入

	25年度	24年度
給料(市税)	95,200円	91,200円
パート収入 (使用料・手数料など)	36,300円	37,600円
貯金の取崩し (繰入金など)	8,400円	8,500円
支援・臨時収入 (地方交付税・国庫支出金など)	310,700円	308,700円
借金(市債)	49,400円	54,000円
収入合計	500,000円	

家族で稼いだお金
13万9,900円

生活費
37万7,200円

毎月の支出

	25年度	24年度
食費(人件費)	76,700円	76,400円
医療費(扶助費)	109,700円	104,700円
光熱費・被服費 (物件費)	64,100円	63,000円
車や家具の修理代 (維持補修費・予備費)	1,700円	1,600円
子供への仕送り (他会計への繰入金・補助費・貸付金など)	125,000円	126,500円
家の増改築 (普通建設事業費など)	52,800円	56,800円
借金返済(公債費)	70,000円	71,000円
貯金(積立金)	0円	0円
支出合計	500,000円	

- 夫：給料は増えたけれど、医療費が大分増えたな。
- 妻：少し貯金を取崩すことにしましょ。いざって時の貯金だし。それに、利率の低いローンもあるみたいだから、借入を続けていけばなんとかなるわよ。
- 夫：借金が増えるのは心配だな。
- 妻：大丈夫よ。私がしっかり管理してるから。借金は順調に減ってきてるわよ。貯金だって様子を見ながら考えてるんだから。
- 夫：そうは言っても、子どもの将来のこともあるんだし、本当に大丈夫なのか？
- 妻：無駄遣いを減らす努力はちゃんとやってるから、当面は大丈夫よ。でも、3年後からは臨時収入が減ってくる予定だから心配が無いとは言えないわね。
- 夫：収入の大部分を支援や臨時収入に頼っている状態だし、将来のことも考えながらしっかりと節約していかないと。
- 妻：でも、節約にも限界があるものね。あなたの給料が増えてくれれば、こんな苦労も減るんだけどな～。



畑地かんがい事業推進費
1,519万9千円
【畑地かんがいを利用した営農推進を図る】



協働の学校づくり支援事業
128万円
【各学校に学校運営協議会を設置】



街路灯整備事業
4,400万円
【指定避難所に通じる市道に街路灯を設置】



肉用牛振興対策事業
1,399万4千円
【優良牛の地元保留に関する費用の一部を助成】



放課後児童健全育成委託事業
2,754万7千円
【放課後児童クラブを増設し、運営を委託】



地域医療対策事業
2,268万4千円
【安心できる医療体制の確保を図る】